



今月の題字  
あやか  
鈴木彩加ちゃん  
(大沢小2年)

# 町のわたい

## 宮古たばこ販売協同組合 船越公園内の清掃奉仕 喫煙マナーの向上を訴え

宮古たばこ販売協同組合の山田地区婦人部（山崎政子部長）では、10月6日、船越公園内の清掃奉仕活動を行いました。喫煙マナーの向上と環境美化を目的に10年前から行っているもので、この日は会員20人が参加。ゴミ袋を手に道路沿いや駐車場に捨てられた吸い殻、空き缶などのごみを拾い集めました。約2時間の作業で集まったごみの山を前に参加した皆さんは「年々ごみの量は減ってきているものの、人の目に付かない所にゴミが捨てられている。ごみのポイ捨ては絶対にやめてほしい」と話していました。



## 町民体育祭に1,100人 織笠地区が4年ぶりの優勝

10月3日、町民体育祭が町民グラウンドを会場に開かれました。33回目となる今年は8年ぶりに参加した大浦地区を含む11地区1,100人が来場。当日は途中から振りだした雨が強くなったため一部の競技は中止となりましたが、参加者は優勝目指して各種競技や応援に熱戦を繰り広げました。ぶら下げられた封筒を口だけで取るユニークな競技「パンくいもどき」では、思うように取れない封筒に参加者は悪戦苦闘していました。結果、最終競技の「世代にかける橋」（リレー）で3位からトップに躍り出た織笠地区が4年ぶりの優勝。準優勝は豊間根地区、3位は轟木地区でした。



## 下閉伊地区育樹祭に120人 除伐、枝打ち作業に汗流す

下閉伊地区育樹祭（県緑化推進委員会下閉伊地区協議会など主催）が10月5日、陸中海岸青少年の家付近の町有林内で開かれました。宮古管内7市町村が輪番で毎年行っているもので、当日は関係者120人が参加。のこぎりやナタを手に樹齢約40年のアカマツやコナラの混交林へ入り、約50%の範囲に分かれて成長や形の悪い木を切り倒したり、雑木を刈り払ったりする作業に汗を流しました。作業後、森林内には見違えるように日が差し込んでいました。



## 山田RC創立40周年記念式典 地域貢献続けた歴史を祝う

10月24日、山田ロータリークラブ（稲川善昭会長）の創立40周年記念式典が「ホテル陸中海岸」で行われ、会員など関係者80人が出席しました。同クラブは昭和39年に創立以来、町内の小中学生が書いた作文をまとめた冊子「やまだの作文」発行を32年間続けるなど、町の文化の発展に大きく貢献。式典では、記念事業として町立図書館内のロータリー文庫に書籍代30万円を寄付しました。その後行われた祝賀会では出席者がこれまでの活動を振り返りながら、同クラブのさらなる発展を誓っていました。



## 東北電力宮古営業所など 球根と街路灯を寄贈 明るい町づくりに役立てて

東北電力宮古営業所（山田満所長）などでは、チューリップの球根1,000個と街路灯10基を町に寄贈しました。贈呈式は10月13日、役場で行われ、山田所長が「町の美化活動と安全で明るい町づくりに役立ててください」とあいさつ。沼崎喜一町長に目録と球根を手渡しました。早速球根は、飯岡地区住民自治会や山田南小の児童らの手で長崎地区の町道沿いに植え付けられました。来春には色鮮やかな花が沿道を彩り、多くの通行人の目を楽しませてくれそうです。



山田所長から沼崎町長に目録と球根が手渡されました（写真上）／児童らの手で球根が植え付けられました（丸写真）

## 鯨と海の絵画コンテスト 入選者に表彰状が贈られる

鯨と海の科学館主催の「ハガキにかこう・鯨と海の絵画コンテスト」の表彰式が10月11日、同館で行われ、入選者54人に表彰状が贈られました。今年で5回目となる同コンテストには、県内の小学生から858点の応募がありました。作品はハガキにそれぞれのイメージでクジラと海を描いたもので、低学年の部の最優秀賞には、佐々木志帆さん（山田南小2年）の「くじらさんとねこさんと海のたんけん」が選ばれました。作品は12月27日まで同館に展示されています。